あんずの木

令和３年９月号　　NO.64

少し日が短くなってきました。蝉の声はまだにぎやかですが、トンボが風に乗って舞い始めました。慌ただしい“ヒト”の世界ですが、手を止め、足を止め、見上げてみると、少し空が高くなっているのに気づくと思います。９月ですからね。

決まりごとや制約が最近多くなりがちですが、「～してはいけない」と、止める発信ではなく、「こうしてみよう」「こう過ごそう」と、具体的にどう動けばよいのか提案してくれる旗振り役がいれば、今無くしかけている“一緒に”“共に”“安心”を取り戻せるのかな、なんて考えています。あんずも小さな旗を振っていきたいと思います。

―９月・１０月の予定―

９月１５日（水）ＳＴ（児童）
９月１６日（木）ドクターＮの医療相談（14～16 時）（共通）
９月２７日（月）ＯＴ（児童）
　１０月６日（水）ＯＴ（児童）
　１０月１４日（木）ＳＴ（児童）
　１０月２１日（木）健康診断（児童）
　１０月２６日（火）ＳＴ　（児童）
　１０月２９日（金）ＯＴ（児童）

＝お知らせ＝

≪９月の支援について≫（児童・放デイ・訪問支援共通）【重要】

新型コロナ感染症蔓延のため、９月１０日（金）まで、児童発達支援は給食なしの午前中の支援とさせていただきます。また、保育所等訪問支援においても、狭山市内の保育所すべてが利用自粛になっているため、同じく９月１０日までは、訪問を中止させていただいています。放課後等デイサービスにおきましては、通常どおりの支援としておりますが、感染予防対策をより徹底させております。今後の動向により、さらに同様の対応を延長する等の可能性もありますが、「できることを、できる範囲で、できるだけ伸び伸びと」過ごせる時空間にしていきたいと思っています。ご協力の程、よろしくお願いします。

なお、保育所等訪問支援につきましては、訪問先の先生方と協議しながら、進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

≪ドクターＮの医療相談≫（児童・放デイ・訪問支援共通）

９月１６日（木）14：00～16：00（一人 30 分枠）で、
埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。
“ドクターの話を聞いてみたい”“セカンドオピニオンを聞いてみたい”“診断ってどう考えればいいの？”等ちょっとした思いで構いません。今回は定員を満たしていますが、今後、ご希望ご関心のある方はお声をかけてください。【今後の予定：11/18（木）　2/17（木）】

コロナ感染症対策は、粛々と

健康状態への早めの留意　　検温　　換気　　こまめな手洗い・消毒

＊ワクチン接種が進んでいますが、これまでと同様に、感染予防に努めていきましょう！
＊大人は、マスクを着用されている方のみの入場可。子ども達のマスクは、できる子のみで。
＊子ども本人の他、ご家族に体調不良の方がいる場合の利用もお断りしています。
＊ご家族の学校や職場等身近で感染者が出た場合、自分や家族が濃厚接触者に当たるかどうか不明な場合は、必ず申し出てください。自己判断で利用しないようお願いします。
＊こまめに換気を行っている他、席の工夫等『密』にならないよう、子ども達に無理のない範囲で取り組んでいますが、小集団での支援の都合上、人は集まります。ご理解ご了解の上で利用していただきますよう、よろしくお願いします。
＊不確実な情報には気を付けましょう！何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

チョコレートクラスの８月あれこれ

　朝の会で取り入れているフープジャンプ。ケンケンパ、グーグーパで進みます。スタートラインに立つと、真剣モードに切り替わる子ども達。顔つき、雰囲気がちょっぴり切り替わるのが伝わってきました。足元に気持ちを集中して、飛び終えたときの満足そうな顔。みんなの拍手に嬉しそうな様子がありました。お友達と並んで、どんどんワイワイ練習を続けると、次の呼名のときには最初よりも上手になっていたりして。子どもの力ってすごいな、と感心してしまいます。
　８月は、キャンディさんと一緒に過ごす時間が増えました。チョコレートさんにも、たくさん見本をやってもらいました。いつもより大人数で注目を浴びながらも、立派に前に出てくる姿に、これまた拍手喝采☆彡
　イレギュラーな月でしたが、子ども達のキラキラな姿をたくさん見せてもらうことができた素敵な８月でした。

キャンディクラスの８月あれこれ

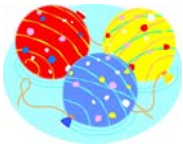
　夏休み明けは、チョコレートクラスと一緒に活動することが多かった８月。いつもと違った環境の中でも、お友達の真似をして、思わず「やっちゃった!!」を経験したり、「できた!!」手応えを感じたり。
　たくさんのお友達の中で、刺激をいっぱい受けて、積み重ねてきた力にアクセントが加わりました。ちょっと難しいことにもチャレンジ!! 「やってみよう」と意欲あふれる姿がたくさん見られて、うれしい大発見の毎日でした。
　子ども達の「できた!!」の笑顔は、夏の太陽に負けない力強いパワーがありますね♡

【新しい職員を紹介します】（児童）

はじめまして！ 宗像です。
みなさんと楽しくすてきな時間を過ごせるよう、
笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。

放デイのひとり言

夏休み中、放デイにやってくる子どもたちの表情は、いつもより穏やかに見えます。学校という社会から解放され、自由な時間を過ごしているからでしょうか？ 放デイの活動にも落ち着いて取り組めています。８ 月最初に取り組んだ「つくってあそぼう」では、トイレットペーパーの芯を使って弓を作り、お菓子の空き箱を的にして当てっこする遊びをしました。これが子どもたちに大ヒット！



８月最終週には、その「的あて」と「ヨーヨーつり」と「魚やキャラクターつり」を楽しみ、大いに盛り上がりました。

夏休みの期間、職員はそれぞれ子ども達が通う学校の先生方と情報交換の時間を作りました。１人ひとりのがんばっているところや課題について確認し合うことで、子どもたちの成長を同じ視点で、これからも支援していきたいと思っています。

保育所等訪問支援のある日あるとき

毎年８月は、幼稚園さんがお休みなので、保育所と学童保育室への訪問になります。今年もそんなつもりでいましたが、コロナの大風が吹いてきて、一か所も伺えませんでした。でも、９月は何とかしたいです。訪問再開か否かだけを考えるのではなく、こんな時こそ新たな連携作りのメニューを見いだせないか策を練っています。

さて、今月は、学童保育室のことを少し。訪問は、通常１５時過ぎに伺います。もう小学生ですから、子ども主体のコミュニティです。訪問対象の子は、就学前からお付き合いしている場合が多いです。これまでの歩みと確かな成長を感じながら、それぞれがしっかりと“自分”を表現し、自分のペースを保ち、家に帰るまでの時間を過ごしています。

訪問では、その子のこれまでの育ちを踏まえ様子を見せていただき、日頃の姿を伺いながら、課題になっているところへの対応について話し合います。学年が上がるとテーマになることが少しずつ変わってきます。放デイの支援と共通するところもあり、あんずに戻ってから放デイのスタッフに相談することもあります。

学童保育室には、以前、どこかの保育所でも会っていた子ども達が多く、「あれ、先生ここにも来るの？」「〇〇保育園で会ったよね」と、これまた会うのが楽しみなんです。

保護者講演会の報告（児童）

立教大学現代心理学部教授 **大石幸二先生**の動画講演会に参加いただいた保護者のみなさん、ありがとうございました。「感覚と身体」「内面と心理」と、２回に分けて動画を観ていただきました。いかがだったでしょうか？

子どものモノの捉え方、行動の背景にあるものを知る、ひとつのきっかけになったかと思います。コロナ禍対策のため、半日の支援とした中での時間でしたので慌ただしさもあり、当初予定していた保育所等訪問支援利用の保護者の方に声をかけられず残念でしたが、この試みを今後の学習会につなげていきたいと思います。

また、ひとつ残してあるテーマ「言葉と関係」については、保護者の皆さんから、大石先生グループの佐藤さんを中心とした個別面談として募集しています。ご興味のある方はお申し出ください。ぜひ、積極的にご活用いただきますよう、よろしくお願いします。

あんず書店

『でんしゃはうたう』

三宮麻由子　ぶん　　みねお みつお　え　　福音館

電車の本は数知れずですが、電車の音（うた）に忠実な絵本はこの本が一番かもしれません。ドアの閉まる音、踏切の音、向こうから来た電車とすれ違う音…「文字にするとこうなるのかな～」と思わず納得しちゃいます。音楽の秋、この本を読むと、何気ない生活音の一部である電車の音も、歌に聞こえてくるはずです。リアルな運転席からの眺めで、運転手さん気分を味わってください。（三上）

大人も水分補給、栄養補給、元気も補給で！